

## 日本 GAP 協会 会員部会< I T ・ 標準帳票部会 > 第二回会合

- JGAP の基準をベースとした栽培情報（使用農薬等）をやり取りする  
共通の書式の開発を目指して -

日本 GAP 協会  
専務理事 武田泰明  
IT・標準帳票部会長 大野俊治  
(株)アグリコミュニケーションズ

日頃より、JGAP 普及にご協力頂き、誠にありがとうございます。

9 月の第一回部会を経て、JGAP 標準帳票（案）を事務局で作成しました。帳票（案）について審議するために IT・標準帳票部会の第二回目を下記の通り行います。帳票（案）を添付いたしますので事前にご参照ください。

また、帳票（案）を作成する過程で流通各社へヒアリングしましたところ、帳票上で特別栽培基準の適合状況を表示する要望が多くありました。そこで、講師をお呼びして特別栽培基準の理解を深める勉強会も行いたいと思います。ご参加のほど、宜しくお願い致します。

日時	2013 年 1 月 16 日 14 時 00 分から 17 時 00 分
場所	日本 GAP 協会（東京都千代田区紀尾井町 3 番 29 号 日本農業研究所ビル）
対象者	①日本 GAP 協会の会員 / ②技術委員 / ③理事 ④JGAP 認証農場 / ⑤JGAP 審査員・指導員
議題	① 特別栽培基準に関する勉強会 <ul style="list-style-type: none"> <li>■講師（予定）</li> <li>農林水産省 消費・安全局 表示・規格課 有機食品制度班</li> <li>・特裁基準とはなにか。どのように計算するのか。</li> <li>・特裁基準の元になる慣行基準とはなにか。県毎の違い。</li> <li>・特裁基準とは生産者・消費者にどのような意味があるのか。</li> <li>・GAP と特裁基準の関係について。</li> </ul> ② JGAP 標準帳票（案）の説明と審議
担当	横溝／武田 TEL：03-5215-1112

<1 月 9 日までに参加お申し込みください FAX 番号：03-5215-1113>

会員名		担当		電話	
携帯		FAX			
E-Mail					
☑をお願いします。	<input type="checkbox"/> 1 月 16 日の第二回会合に参加する				
	<input type="checkbox"/> 1 月 16 日の第二回会合後の懇親会に参加する				
<JGAP 標準帳票（案）に対するご意見、特裁基準に対する疑問点をお書きください。>					

## 参考：日本 GAP 協会 会員部会のご紹介

会員部会	部会の概要 (設置当初の目的や狙いなど)
農薬・肥料・資材部会 (既設)	農薬、肥料、その他の農業資材に関係した会員を中心に組織する。それらの技術的な審議や啓もう活動を行うほか、技術委員会への JGAP 基準改定の提言や、農業現場への JGAP 指導手法の開発・発展を目標とする。
輸出部会 (既設)	日本産農産物の輸出に関係した会員を中心に組織する。JGAP の海外での普及や啓もう活動を行い、JGAP 認証農場の海外進出を支援し、日本産農産物の輸出を促進することを目的とする。
IT・標準帳票部会 (既設)	IT および流通に関係した会員を中心に組織する。農薬使用履歴など栽培情報を生産側と流通側でやり取りする標準帳票の設計や、IT による情報の共有化などの審議を行う。
農業経営・金融部会 (既設)	農業経営と GAP の関係性に関する研究や、農業向け融資に関する会員を中心に組織する。外部の研究者も参加する「農業経営と GAP に関する研究会」を運営し、JGAP 導入によって、農業経営がどのように改善されたのか定性的に把握するとともに、定量化できる部分については定量的に計測する。
消費者・普及部会	消費者と接する小売および流通に関係する会員を中心に組織する。JGAP の消費者向け普及を目指し、その方法や取り組みを審議・実施する。外部の有識者も参加する普及委員会を運営する。
外食・加工食品部会	外食業および加工食品に関係する会員を中心に組織する。外食業界や加工食品業界での JGAP 普及を目指し、その方法や取り組みを審議・実施する。
分析・放射能部会	分析機関、分析機器および放射能検査・対策に関係する会員を中心に組織する。農業者・流通事業者が活用しやすい分析方法・分析機関のあり方を審議する。技術委員会への JGAP 基準改定の提言も行う。

\*会員部会の設置に関する規約「会員部会の規約」[http://jgap.jp/LB\\_01/kaiinbukai\\_kiyaku.pdf](http://jgap.jp/LB_01/kaiinbukai_kiyaku.pdf)

### <皆様へのお願い>

本 FAX が届いている方は、日本 GAP 協会にメールアドレスが登録されていないことを意味しています。メールアドレスを登録される方は「メールアドレス登録」と記載の上、[info@jgap.jp](mailto:info@jgap.jp) にメール送付をお願い致します。

◆ 団体に所属し、団体が栽培情報を管理している YES:  NO:  ◆ FCP 展示会・商談会シートを添付している YES:  NO:

◆ 団体に所属しているが、個別に農業使用計画、肥料使用計画を立てている YES:  NO:

◆ 基本情報

団体代表者名/ 生産者名	氏名	住所	TEL	FAX	携帯番号	E-Mail
木内 博一	千葉県香取市新里 1020	千葉県香取市新里 1020	0478-78-5501	0478-78-5502		
代表生産者	佐藤 正史	千葉県香取市新里 1020	0478-78-5501	0478-78-5502	090-1234-5678	
栽培確認者	砂辺 悟志	千葉県香取市新里 1020	0478-78-5501	0478-78-5502	090-1234-5678	<a href="mailto:000000@wagouen.com">000000@wagouen.com</a>
営業担当者	那須 政彦	千葉県香取市新里 1020	0478-78-5501	0478-78-5502	090-1234-5678	<a href="mailto:xxxxxxx@wagouen.com">xxxxxxx@wagouen.com</a>

◆ 栽培情報

作付年度	2012年度	産地行政区分	千葉県	栽培区分	特別栽培	品目	大根
出荷期間	2012/11～2013/03	総栽培面積	400a	総予定収量	140t	品種(苗名称)	夏の翼・冬侍
栽培期間	2012/08～2013/03	栽植株数/反	5000本	土壌消毒の有無	有・無	種苗の入手先(購入/自作)	購入種之苗・自家採種・自家育苗
耕起予定日	2012/08	栽培方法	露地栽培	除草剤の使用有無	有・無	種苗の消毒有無	有・無
播種予定日	2012/08	前作栽培品目	キャベツ・パセリ	ドリフト対策	有・無	購入種子の消毒内容は、種子消毒内容へ 入力してください。購入苗の消毒内容は、農 薬使用計画・実績へ入力してください。	
定植予定日	2012/09	前作収穫終了日	2012/06	普及センター名	有・無	精製使用・ドリフト対策・マルチ使用	
収穫期間	2012/11～2013/03	土壌分析の実施有無	有・無			香取農業事務所	

◆ 生産者情報

JGAP 登録番号	氏名	住所	出荷期間	栽培面積(合計)	圃場枚数	予定収量(合計)
0000000	富田 耕作	〒289-2803 千葉県旭市大間手0000	2012/11/1～2013/2/25	200a	14	70t

◆ 農薬使用計画

農薬No.	製造メーカー	登録/届出番号	農薬登録番号	農薬名	成分名	種子消毒成分削減割合	計画時農薬成分削減割合
1	日本曹達株	第19112号		モスピラン水溶液	アセタミプリド	50%	75%削減

◆ 肥料使用計画

肥料No.	製造メーカー/自作	登録/届出番号	肥料名	原材料	計画時化学合成窒素成分削減基準	計画時化学合成窒素成分削減割合	使用目的	N	P	K	Ca	Mg	化学窒素含有率	使用ステージ
1	日東エフシー	生第47790号	8-8-8化成肥料	牛糞	50%	50kg	元肥・追肥・土壌改良・葉面散布	8	8	8			100%	育苗・本圃
2	自作	堆肥	堆肥				元肥・追肥・土壌改良・葉面散布							育苗・本圃
							元肥・追肥・土壌改良・葉面散布							育苗・本圃
							元肥・追肥・土壌改良・葉面散布							育苗・本圃

